

合併後初の会議を開催

行政協力員会議

合併後初となる行政協力員会議が四月十九、二十の両日、町内三地区ごとにそれぞれ開かれ、今年度の町の主要事業などについて説明がなされるとともに、質疑応答が行われました。

町内には現在、行政区が百四十三あり、その内訳は千畑地区二十九、六郷地区四十二、仙南地区七十二となっています。

また、名称については、千畑地区ではこれまで「行政嘱託員」という名称を用いていましたが、今年度から「行政協力員」に統一されました。

なお、行政協力員の役割については旧町村でそれぞれ違いがあるものの、今年度についてはこれまでどおりとし、年度内に検討し統一することになります。



期限内納付100%達成を目指して 美郷町納税貯蓄組合連合会設立総会

美郷町納税貯蓄組合連合会の設立総会が四月二十七日、仙南公民館で開かれ、町内の納税貯蓄組合長約百人が出席して新たなスタートを切りました。

総会では、会の規約、役員、十七年度の事業計画並びに収支予算など五つの議案をいずれも原案どおり承認。会長に田沢忠成さん(旧千畑町納税貯蓄組合連合会長)、副会長に矢尾奎一さん(旧六郷町同)、高橋恒二さん(旧仙南村同)をそれぞれ選出しました。また、十年以上にわたり納税貯蓄組合活動の発展に多大な貢献をされた次の方々を表彰されました。

▽上野納税貯蓄組合長 戸澤 隆一さん
▽北小屋納税貯蓄組合長 樫尾 良一さん

町納税貯蓄組合連合会の設立にあたっては、昨年七月に旧三町村の連合会役員十五人で設立準備委員会を立ち上げて協議を重ね、旧三町村の連合会を発展的に解消させての設立となりました。

なお、町内には現在、納税貯蓄組合が百七十六あり、その内訳は千畑地区六十二、六郷地区三十一、仙南地区八十三となっています。



本町の投票率は68・37% 県知事選挙 美郷町開票結果

任期満了に伴う第十六回秋田県知事選挙は四月十七日、投票が行われました。

本町でも町内二十五カ所で投票が行われ、即日開票されました。

なお、本町の開票結果は次のとおりです。



候補者氏名 (届け出順・敬称略)	得票数
谷口賢一郎	694票
寺田 典城	8,525票
佐々木良一	422票
佐藤正一郎	3,551票

- 当日有権者数 19,429人
(男9,071人、女10,358人)
- 投票者数 13,283人
(男6,179人、女7,104人)
- 有効投票 13,192票
- 無効投票 91票
- 投票率 68.37%
(男68.12%、女68.58%)

美郷町選挙人名簿の 閲覧について

選挙人名簿の抄本の閲覧は、選挙人が自己または特定の選挙人の登録の有無を確認する場合等に限り認めています。

なお、選挙人名簿の抄本の記載事項を他に写す方法は、筆記に限ることになっています。

問い合わせ 美郷町選挙管理委員会事務局
☎84-1111(内線1243)

あなたの「声」、
を町長に直接
伝えませんか

5月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
5月17日(火)	午後5時～ 午後6時30分	役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室)
5月19日(木)		役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室)
5月23日(月)		役場六郷庁舎2階 町長室

※六郷庁舎での開催は毎月いずれかの水曜日としていますが、今月は諸事情により月曜日となりました。

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民の皆さんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。

個人でも団体でも、どんなささいなことでも構いませんので、お気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。



役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-1111(内線1226)

町長が週1日
役場千畑庁舎
と仙南庁舎で
執務

移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～ 午後3時	役場仙南庁舎
毎週木曜日		役場千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

風

美郷町長 松田 知己



「花より団子」

春爛漫。見事に咲いた桜の下では、何とも言えない豊かさに包み込まれます。「では一杯」という気分になります。皆さんはいかがでしょう。

さて、私たちは名目より実利を大切にする時、「花より団子」という表現を使います。何となく現金な雰囲気が出てきますが、深さはあります。何が花で何が団子かによって、随分と結果が違ってくるからです。踏み込んで解釈すると、それは優先度や緊急度という言葉にも繋がってきます。

この言葉、行政運営にも当てはまります。様々な認識で色々な課題がある中、またお金に限りがある中、私たちの暮らしを良くするために何が花で、何が団子か良く考えて取り組まないといけません。実利をどう考えるかです。十七年度予算は、それぞれの分野で何が団子かを考えな

から編成したつもりですが、教育分野では一番団子が安全安心に繋がる「耐震関係」でした。

現在、美郷町には小中学校が十校あります。この中で昭和五十六年度以降に建築され、震度五程度でも被害がない施設が三校、補強・調査を要するのが七校です。最近大きな地震が続発しており、何より心配なところ。

そのため、美郷町では町内の学校施設を早急に調査・補強することとし、七校のうち昨年度調査を実施した三校は補強工事を、残りの四校は本年度ですべて耐震調査を実施することにしました。特に代替機能がな部分ではこの整備を優先し、まずは安全安心を確保したいと思えます。その分のしわ寄せは当然あります。しかし、仕方ありません。でも、この整備によって子供の安全確保と併せ、町民の避難所確保もできます。まずは最低限の「備えあれば憂いなし」が「団子」との認識で取り組むところです。

先日、東京都大田区六郷にお邪魔してきました。多摩川の堤防、しっかりとできていました。百年に一度の災害にも耐え得る土手だそうです。目先の甘さより未来の美味さを追った「団子」選択のようです。さすがだなあといいながら、私は目先の団子、おいしい焼きそばを頬張った次第です。

写真

4月7日に行われた仙南東小学校の入学式でお祝いの言葉を述べる松田町長